

定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の

堅持及び拡充を求める陳情書

討論要旨 いとう伸一議員

国家百年の計と言われるように、日本の将来に教育は最も大切です。尾張旭市においても、子育て、教育は、令和7年度、特に注力すべき施策になっております。日本の将来を担う子供たちの教育は、学校では先生が子供たちの学びと成長を支えています。一人一人にきめ細かな指導を行うために少人数学級の拡充が必要ですが、残念ながら国として明確な定数改善計画は示されておられません。

例えば陳情にありますように、特別な支援や日本語教育を必要とする子供たちへの支援の時間と、漏れなく全ての子供に行き届くための指導の時間を両立しようとするには、現在の教職員定数では足らず、人員的に余裕のある学級体制が必要となります。

改善には、指針や目的、目標を定め、計画を立てた上で実施するステップが必要です。具体的な計画がないと実施できず、教育現場で子供たちが一人一人に合った教育が十分にされないままになってしまいかねません。そのため、国に対し、多忙を極める教職員の定数改善計画の早期策定・実施を求めます。

次に、義務教育費国庫負担制度の堅持と国庫負担率を2分の1に復元することについてです。

国庫負担率が引き下げられた結果、地方自治体の財政に負担となり、教育条件整備に制約が生じております。教育環境の地域間格差を生じさせないためにも、自治体が余裕を持って教育予算を活用できるように、国庫負担率を2分の1に復元することを必要と考えます。

我々には、日々子供たちに向き合う教育現場の声に耳を傾け、その声を国に届ける責務があると思っています。教育は、未来をつくる営みでございます。皆様にもこの陳情に御賛同いただきますようお願い申し上げます。